

大森ゆきこ

生き活きかわら版

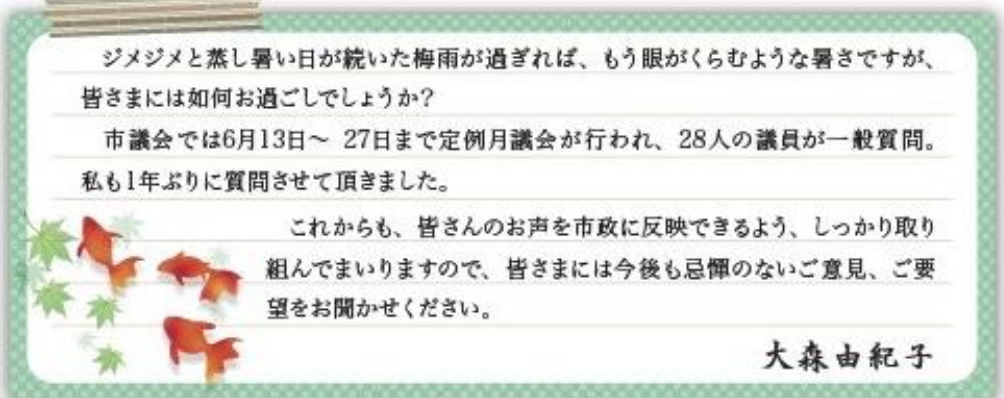


ジメジメと蒸し暑い日が続いた梅雨が過ぎれば、もう眼がくらむような暑さですが、皆さまには如何お過ごしでしょうか？

市議会では6月13日～27日まで定例会議会が行われ、28人の議員が一般質問。私も1年ぶりに質問させて頂きました。

これからも、皆さんのお声を市政に反映できるよう、しっかり取り組んでまいりますので、皆さまには今後も忌憚のないご意見、ご要望をお聞かせください。

大森由紀子



ひらかた健康ほっとライン24

0120-513-080

いつでも 24時間365日対応
気軽に 通話料・相談料無料
専門相談 医師・看護師等常駐



公明党の提案で枚方市民が24時間365日、いつでも相談できる、健康相談専用ダイヤルができました



市に2,000円以上の寄付をした場合に、住民税と所得税の一部が減額される「ふるさと寄付金」で、1万円以上の寄付をした方に本市の特産品の送付が始まりました

枚方市
ふるさと
寄付金



地域の皆さんの声の実現しました～

須山町カーブミラー



片鉾本町道路補修



〈耳寄りな市政情報〉

3世代家族の定住応援

市外の子育て世帯・40歳未満の若年夫婦世帯が市内の親世帯と同居、または近居のために市内で新築・住宅リフォームをする場合に最大30万円の補助があります
☎841-1478 景観住宅整備課(8月6日に説明会あり)

上下水道基本料金の減免

高齢者、母子父子世帯、身体障がい者(児)世帯、身体的障がい者(児)世帯など
☎848-5518 上下水道局お客さまセンター

高齢者向け臨時福祉給付金

申請は8月9日までです



発行は、枚方市議会議員 大森由紀子です。

市議会 TEL: 072-841-1221(市役所4F 公明党控室)
連絡先 TEL: 072-847-7701(FAX兼用)

6月議会質問

自治体クラウドの早期導入について

税や健康保険など、1市だけで業務を行うより、他市と共同のシステムで業務を行う方が経費(コスト)が削減でき、災害にも強い情報システムが構築できる。として、国でも地方に強く導入を示し、すでに先行して自治体クラウドを導入している市もある。本市においても早期導入をすべきだが、その取り組みについて質問。

市としては、現在、大阪府下の各市が参加している「自治体クラウド検討会」に参加して、共通の課題について検討している状況。今後もそれぞれ独自のシステムや更新時期を含め、費用対効果や導入の手法をさらに検討していく。

健康寿命を延ばすための取り組みについて

健康寿命について国の調査では、大阪府は男性が47都道府県中44位、女性が45位とどちらも下位となっている。市民の健康寿命を延ばすことは、年々増え続ける医療費や介護給付費抑制のためにも大きな効果が見込まれる。そうした意味から、以前にも要望していた市民の食生活を改善するためのヘルシーメニューの提供には大いに期待している。その内容について質問。

市としては、生活習慣病は食生活との関連が深く、アンケート調査からは外食に依存している人が多い、という本市の状況から、エネルギー量や脂質、食塩、野菜の4つの点からヘルシーメニューの基準を市が策定、それに適合したメニューを提供する飲食店を募集していく。

安心・安全な放課後の児童の居場所について

①24時間365日、家族がつきっきりで医療的ケアをしている家庭にとって、家族の大事なレスパイトにもなっている放課後等ディサービスでは、2人目の受け入れから国の加算が半分に限り厳しい運営となっている。市として何らかの支援をするべきと思うがどうか、と質問。

②留守家庭児童会室が6年生まで拡充の予定と聞いているが、国では全児童対象の放課後対策を示している。全国でも、留守家庭児童会を含めて全児童を対象にした事業を行っている所や一定の時間までは全児童を対象にして、それ以降は、留守家庭児童会として運営する所など、地域地域によって内容もやりかたも色々だが、放課後の児童対策の必要性は保護者の就労によるものだけではなくなってきた。今後、本市のニーズに見合う取り組みをしっかりと調査・研究するべきと指摘。

市としては、医療的ケアが必要な児童を受け入れている事業所では、送迎などで指定基準以上の人員が必要となる事や看護師も必要となる事などから、他市事例も参考に支援の研究をする。

その他

「高齢者サポートセンターの役割」「ひらかたのめざすまちの姿」「一人ひとりが輝く市民との協働の仕組み」について質問しました。